

2017 - 18年度 RI テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary International
国際ロータリー会長
イアン H. S. ライズリー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

変革の時代、創造のとき。
新たな一歩で感動を！

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：大松 桂右
●幹 事：高岡 正和
●会報委員長：安田 憲司

今週のプログラム

第2171回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「奉仕の理想」
- ③ ビジターの紹介
春のライラPR訪問
ホストクラブ 八尾ロータリークラブ
直前会長 山本 昌市様
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ 卓話 「私の履歴書」 陣田 匡人会員
- ⑦ 閉会 点鐘

★例会前：第30回IMRD実行委員会

*例会後：IMRD全体打ち合わせ

*3/17(土)第1回クラブ戦略計画委員長会議

於：大阪府中央区民センター

登録開始 10:00～ 会議 10:30～12:00

大橋副会長 出席予定

*3/22(木)四和会(ホスト：八尾中央RC)

於：料亭 山徳

受付：17:30～ 四和会：18:00～20:00

大松会長、大橋副会長、高岡幹事、品川会長

エレクト、堀内次年度幹事、山本事務局員

出席予定

来週の予定

第2172回例会 3月23日(金)

★卓話 「アパレル業界の今後」 堀内 伸也会員

★例会前：次年度第2回理事役員会合

★例会後：第31回IMRD実行委員会

前週の例会記録

2018年3月9日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2170回	28名	14名	63.6%	出席義務免除 7名(出1)
第2168回	28名	22名	95.7%	補 填 0名

ニコニコ箱

●長尾会員、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

先週例会欠席のおわび。 大松 桂右会員

●長尾さん、卓話ご苦労さまです。奥田 長二会員

●本日の長尾会員の卓話楽しみにしていましたが、先日亡くなった友人の四十九日法要参列の為、例会を欠席させていただきます。卓話頑張ってください。

池本 繁喜会員

●長尾さん、卓話楽しみです。 大橋 秀造会員

●長尾さん、卓話期待します。 鈴木 洋会員

●先週例会欠席のお詫び。

長尾会員、卓話楽しみにしています。

森下 慶治会員

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

- 長尾さん、卓話ご苦労様です。桑田 タア子会員
- 長尾さん、卓話頑張って下さい。
本日、欠席で申し訳ありません。辻盛 英一会員
- つたない卓話です。長尾 穰治会員

●**今回合計** 9,000円

●**累計** 651,580円

会長の時間

本日、クラブ創立45周年事業のカロリング大会のチラシ・ポスター原案を配布させていただきます。これまで、八尾市教育委員会や地域の各種団体、スポーツ推進委員さんらとの協議を重ねて参りましたが、これからは、より具体的な調整が必要となってきますが、会員の知人等にも参加を呼び掛けて頂くなどご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

幹事報告

【配布物】

- ・週報・45周年記念例会会計報告書・カロリング大会チラシ（タタキ）
- ・ロータリー友誌 3月号・本日の卓話資料

【回覧】

- ・45周年記念例会集合写真申込表
¥120/枚（2Lサイズ）

【連絡事項】

- 台湾東部地震義捐金のお願い
2/6に台湾東部でM6.4の地震があり、ビルの倒壊、死傷者250名以上の被害がありました。
日本と台湾との友好関係は永く続いており、ご存知のように東日本大震災の際は、台湾各地の消防士からなる台湾救援隊28名の派遣、総量560トンに及ぶ

支援物資、政府並びに民間からの総額200億円近くに上る義援金などの多大な支援をいただきました。当地区には台湾のロータリークラブと姉妹・友好提携を結んでいるクラブも多く、また米山奨学生・学友も多数おり、当地区と台湾との関係は切ってもきれないものがあります。当地区といたしましては、速やかに義捐金をお届けして復興の一助としていただきたいと思います。

当クラブも各会員からの義捐金を3/15までに地区に送金致します。

●3/16（金）IMRD全体打合せの件

3/16（金）例会後にIMRDの全体打合せをします。会員の皆様については、ご出席頂きますようお願いいたします。

卓話

「段ボール産業の歴史」

長尾 穰治会員



私たちが手にする家電製品、食品、ビールや清涼飲料、青果物、事務用品、衣類などの様々な商品は、生産者から私たちの手元まで、段ボールで安全に保護されて届けられている。そして、役目を終えた段ボールは、新しい段ボールの原料として何度もリサイクルされている。

2006年に日本で生産された段ボールは138.6億㎡であり、福島県の面積にほぼ匹敵する。

段ボールの特性

段ボールの役目を分析すると、次のような優れた特性が分かる。

- 段ボールは、天然資源をリサイクルして作られる。

今日、日本では使用済み段ボールの90%以上が回収され、新しい段ボール（段ボール原紙）に生まれ変わっている。段ボールはリサイクルの代

表選手である。

●段ボールは、軽量ながら頑丈である。

精巧な構造による軽量ながら優れた強さと緩衝性、荷抜きや異物混入を防止する機密性などにより、商品を目的地まで安全に保護して輸送するのに最も効率的な包装である。

●段ボールは、オーダーメイドである。

異なる産業の様々な商品の生産ラインでの梱包、輸送・保管時の荷扱い、物流基地・小売店・家庭での開梱、開梱後の廃棄・リサイクルまで、サプライチェーンのさまざまな要求に応じて設計される。

●段ボールは、常に新品である。

ワンウェイ包装だから常に新品であり、食品輸送などで留意すべき衛生問題が回避される。

●段ボールは、美しい印刷が可能である。

商品を効果的にアピールする沈黙のセールスマンである。

●段ボールは、短期間に大量のデリバリが可能である。

繁忙期や閑散期の在庫管理が不要で在庫スペースを削減できるとともに、高速自動包装ラインで容易に組み立てられるので生産性が向上する。

段ボールはこれらの特性により、輸送包装材として世界中で最も多く利用されており、2006年の世界の段ボール生産量は1,650億㎡(日本の11.9倍)と推測されている。

今後も、国際的な物流の拡大により、その需要はますます拡大するであろう。

段ボールの発祥

段ボールの発祥は英国で、1856年、E. G. ヒアリーと、E. E. アレンの2名が、ビクトリア朝時代の紳士がかぶるシルクハットの汗止め用裏打ち材として、「しわ付き紙」の特許を得たときとされている。

段ボールを包装材として使用したのは米国で、1871年、A. L. ジョーンズが紙に段をつけただけのもの(以下、「繰りっ放し」と呼ぶ)の特許を取得し、わらやおがくずに替わる緩衝材としてガラ

スびんや石油ランプのガラス管などの輸送に使用した。

1874年には、O. ロングが、段が伸びてしまうのを防ぐために段の片側にライナを貼り合わせた片面段ボールを開発して特許を取得し、びん、かめ類の包装に使用した。1894年頃には、両面段ボールが考案され、段ボールシートに薄切りと断裁を施した段ボール箱が初めて製造され、1895年に、ウェルズ・ファアゴ銀行が小口貨物の輸送用に段ボールを外装用として使用し始めた。

このように、段ボールは、主に米国で発展し、1800年代の終り頃には現在の段ボールの原型ができあがっていた。

日本では、1909年、井上貞治郎(現レンゴー株の創業者)が、綿繰り機を応用してボール紙に多くの段をつけた繰りっ放しの製造に成功し、段ボールと命名して事業を開始した。これが日本の段ボール産業の発祥となった。

(全国段ボール工業組合連合会発行

段ボールハンドブックより)



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB

2018～2019 年度委員会構成表

役員 (5名)

理事会 (7名から9名)

会 長	品川 芳洋
会長エレクト	長尾 穰治
副 会 長 兼会場監督(SAA)	桑田タア子
幹 事	堀内 伸也
会 計	石川 義一
副幹事	

会 長	品川 芳洋
会員組織委員長 (直前会長)	大松 桂右
職業奉仕委員長・会長エレクト	長尾 穰治
クラブ運営委員長・会場監督・副会長	桑田タア子
幹 事	堀内 伸也
会 計	石川 義一
奉仕活動委員長	辻盛 英一
理 事	鈴木 洋

